

日本学術会議 機械工学委員会 (第 24 期・第 2 回)

議事録

日時：平成 30 年 4 月 17 日 (火) 13:00-15:00

会場：日本学術会議 1 階講堂

参加者 (敬称略)：大島 まり，金子 真，厨川 常元，但野 茂，菱田 公一，福山 満由美，藤井 孝藏，吉村 忍，荒木 稚子，石川 拓司，岩附 信行，岩渕 明，大竹 尚登，岡崎 健，帯川 利之，梶島 岳夫，亀田 正治，河合 宗司，岸本 喜久雄，北村 隆行，木村 文彦，久保 司郎，佐々木 直哉，塩見 淳一郎，渋谷 陽二，新野 秀憲，鈴木 宏正，須田 義大，高田 保之，田中 和博，田中 真美，塚田 竹美，柘植 綾夫，永井 正夫，萩原 一郎，樋口 公一，藤田 修，増澤 徹，松田 三知子，松本 健郎，松本 洋一郎，圓山 重直，水野 毅，宮崎 恵子，宗像 鉄雄，森下 信，門出 政則，柳本 潤，矢部 彰，山西 陽子，吉田 英生，和田 成生 (52 名)

配布資料：

- 資料 1 前回議事録 (案)
- 資料 2 学術会議の構成
- 資料 3 機械工学委員会名簿
- 資料 4 機械工学委員会関連分科会
- 資料 5 機械工学委員会関連分科会設置提案書 & 名簿
- 資料 6 マスタープラン依頼 & 抜粋ロードマップ

追加資料：機械工学委員・機械工学の将来展望分科会名簿

1) 前回議事録 (案) の確認

修正無く承認された。

2) 学術会議の委員会・分科会構成について

藤井委員長より資料 2、並びに 2017 年 10 月～2018 年 4 月 20 日 3 月活動報告 (第 176 回総会、山極会長説明資料) を用いて学術会議の構成等に関して説明があった。

- ・本部移転の問題が解決し、変更無しであること
- ・今後、議事録がオープン化となること
- ・シンポジウム等、日曜日開催が可能になること
- ・第 24 期の科学者委員会の構成と課題

3) 機械工学委員会の構成について

藤井委員長より資料 3 名簿の確認依頼があった。違っている場合は浅間幹事に要連絡。

4) 今期の活動について

○機械工学委員会関連分科会の説明があった。

- ・藤井委員長より、資料 4 を用いて機械工学企画分科会に関して説明があった。メンバーに川村委員、

岸本委員を追加したいとの提案があり、承認された。

・その他の機械工学委員会関連の分科会に関して資料 4 を用いて説明があった。金子委員（ロボット学分科会）、岸本委員（力学基盤工学分科会）、菱田委員（IUTAM 分科会）、厨川委員（生産科学分科会）、但野委員（生体医工学分科会）。

・柘植委員より下記のような質問があり、善後策を検討することになった。

質問：世界工学連盟対応の分科会が立ち上がったはずだが、オーサライズされていない。重要なので、対応分科会を立ち上げ、日本のプレゼンを上げよ。土木委員会から WFEO 分科会が立ち上がっているが、機械工学委員会からメンバーが入っていない。善後策を検討すべき。

・萩原委員より、第 23 期は土木工学委員会を中心に活動していた。機械工学委員会からは委員がでてなかった、との補足説明があった。

○新規の分科会（機械工学の将来展望分科会）の設置提案があり、これを承認した。

・大島委員より資料 5、追加配付資料を用いて説明があった。活動中心はマスタープラン策定、並びに機械工学シンポジウム企画である。また大型マスタープラン策定にあたっては、関連学協会へのアンケートを行う計画であることが紹介された。

・柘植委員より、この分科会は大事、“今までやってきたこと”、“今までやってこなかったこと”で太くして行くべきことは何かを見える化してはどうか？との提案があった。

・藤井委員長より、資料 6 を用いて大型マスタープラン対応への機械工学委員会としての方針の説明があった。

5) 機械工学シンポジウムについて

大島委員から提案のあった機械工学シンポジウムの開催が、承認された。

6) その他

・藤井委員長よりメール審議に関して、メールアドレスを共有することが提案され、承認された。

・総合工学委員会から“フロンティア人工物”の分科会の提案に関して藤井委員長から説明があり、承認された。

・柘植委員より、“学術の動向”の編集方針が変わり、有用な情報が多い事が紹介された。また会員への購読勧誘があった。

・藤井委員長より、次回の機械工学委員会はシンポジウムの開催に合わせて、開催とすることの案内があった。

・藤井委員長より、下記の要請があった。

・提言、報告等を出すように活動していただきたい。

・機械工学委員会のみではなく、学術全体に対して考えていくことが重要。積極的に活動してもらいたい。

・松本（洋）委員よりキャビテーションシンポジウム開催（2018.10.18～19 北海道大学）の説明があり、承認された。

・出席委員の自己紹介を行った。